東京電力ホールディングス(株) 福島第二原子力発電所

2018年度 パフォーマンス向上会議不適合報告情報(2019年 3月27日(水)分)

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年 3月27日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 Ⅱ: 該当なし

区分 皿: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1		洗濯廃液系再循環ポンプ(A)封水入口弁において、動作不良(「開」操作したところ「全開」にならず)が認められたため、当該弁を点検・修理。	GⅢ	3月24日
2	1·2号廃棄物 処理設備	濃縮廃液系濃縮洗濯廃液タンク(A)の点検期限を点検計画に基づき一般点検を2019年3月としていたが、当該タンク内液の処理を実施することから、マニュアルに従い技術評価を実施し、点検期限を2020年10月まで延長。	GⅢ	3月25日
3		換気空調系廃棄物処理建屋排気ファン(B)逆流防止ダンパーにおいて、ダンパーリンク機構ボルト(1箇所)の外れが認められたため、当該ボルトを交換。	GⅢ	3月25日
4	その他	消火系圧力調整用消火ポンプ(A)の点検期限を点検計画に基づき本格点検を2019年3月としていたが、同ポンプ(B)出口逆止弁の閉固着に伴う原因調査及び復旧に時間を要することから、マニュアルに従い技術評価を実施し、点検期限を2019年4月まで延長。	GⅢ	3月26日